

かわさき教育プラン策定のあらまし

1 策定の主旨

わが国は、少子高齢化、グローバル化、情報化、産業・就業構造の変化、価値観の多様化、地方分権の推進などの大きな時代の変化のなかにあります。この大きな変化のなかで、教育分野においても、学力の低下、モラルの低下、学級崩壊などの新たな課題が浮かび上がってきています。

川崎市教育委員会においては、昭和61年に報告のあった「いきいきとした川崎の教育をめざして」の提言に基づき教育施策を展開してきましたが、すでに20年近くが経過したことなどから、今回新たに「かわさき教育プラン」を策定しています。

このプランは、すべての市民の教育・学習活動、文化・スポーツなどの各分野にわたって、子どもから高齢者までが生き生きと学び合うことのできる社会の実現をめざすものです。

2 プランの位置づけ

このプランは「川崎市行財政改革プラン」並びに、現在、策定作業が進んでいる新たな総合計画との整合を図りながら、今後10年間の教育改革の方向性についてまとめるものです。また、新しい時代における、より効果的な教育財政のあり方などについて、平成16年3月に策定した「教育委員会事務事業改善プラン」の内容も踏まえてまとめていきます。

かわさき教育プランの基本的な目標

今回のプランにおいては、子どもから高齢者までの誰もが、それぞれ生きがいや目標を持って学習し、多様化する価値観のなかでともに認め合いともに高め合い、自らも成長する社会をめざします。

そのためには、市民一人一人が、学習活動や市民活動を通して、子どもの成長に対して責任と誇りを持って参加する地域をつくっていくことが重要だと考えます。

そこで、川崎市教育委員会においては、以下の2つを基本的な目標として、教育施策を展開していきます。

☆ 多様化する価値観のなかで、子どもと大人がともに生き、一人一人が生き生きと輝く学習社会を創造する

具体的には……

- 子どもたちが21世紀を生き抜く力を身に付ける教育
- 地域や学校の創意工夫による多様な教育
- 子どもも大人も個性が伸び、多様性が尊重される教育 など

☆ 地域の学習のネットワーク化を支援し、地域教育力の向上へつなげる

具体的には……

- 市民の自主的な学習活動・市民活動をつなぐ環境づくり
- 誰もが、いつでも、どこでも学べ、一人一人が輝く環境づくり
- 学校で子どもも大人も、ともに学び合い、遊び、育つ環境づくり など

